

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

令和6年が、皆さまにとって健やかで希望に満ち溢れた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げますとともに、日頃より市政にお寄せいただいたとおり、心より御礼を申し上げます。

今年の干支、「甲辰（きのえ・たつ）」は、春の日差しが、あまねく成長を助ける年になると言われております。

この冬は暖冬傾向との予想もありますが、市内でも新型コロナウイルスに加え季節性インフルエンザの感染も増加するなか、原油価格や物価の高騰が依然として市民生活に大きな影響を及ぼしていることから、年頭にあたり、改めて自らに課せられた「使命」、市民の皆さまから寄せられた「付託」の重さを真摯に受けとめ、明るいま来が切り拓けるよう、決意を新たにしているところでございます。

さて、昨年、地震や豪雨などの自然災害は年々激甚化しており、昨年度内でも発生した線状降水帯被害などはこれまでの大型台風予測とも異なり、いつ来るか予測のつかない災害に対しても一層の備えの必要性を強く認識いたしましたので、これに備え自主防災組織の全地域設立に向けた取り組みを推進してまいります。

そのような中、昨年「たむらのエゴマ油」が地理的表示保護制度

（GI）に認証され、この品質が国によって証明されたことは、本市に元氣と活力を与え、農業振興の原動力となりました。また、令和7年に開催される大阪・関西万博弁当の食材として選定されることに繋がりました。「寿命が10年延びる」とも言われるエゴマを通して地域の魅力を世界に発信できることを喜ばしく感じております。

昨年は全国初の「昆虫課（バーチャル）」の設置や、県内初となる「自動運転バス」実証事業を通して田村市を全国に発信できましたので、関係人口の創出、更には移住定住に繋がることを期待しております。

本年も引き続き、人口減少対策をはじめ、子育て支援や医療・介護・福祉サービスの充実などの諸課題に向き合い、総合計画に描く「働きたいまち、学べるまち、安心と絆のまち、住みやすいまち、支えあいのまち」の実現に向けて一歩ずつ確実に進めることで、市民の皆さまの安全・安心な暮らしの確保に取り組んでまいります。

すべては一人一人の笑顔をつくるため、皆さまの声を推進力として本市の目指す将来像「ワクワクがとまらない 自然とチャレンジがいきるまち 田村市」の実現に邁進してまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



田村市長 白石高司

New Year's greetings! 2024 新年のごあいさつ

「田村の美桜 88 景」
あせみさわ
馬酔木沢の桜（都路町）